

第 83 回 大航海時代②

1 スペインと「新大陸」

・一方ポルトガルにおくれをとったスペインは、ポルトガルとは別のルートでインド（スペイン語でインディアス）へ到達しようとしていた。

- ・そのころジェノヴァ出身の船乗り（ ）は、トスカネリの「地球球体説」を信じ、西まわりでインドに行けると主張していた。
→スペインの女王（ ）の援助を受けた。



コロンブス

有名な割には謎の多い人物で、彼の前半生はわからないことだらけである。イタリア出身ではないという説や、ユダヤ人説まである。



ジェノヴァ

ジェノヴァは地中海に面するイタリアの都市。当時はジェノヴァ共和国という独立国であり、地中海貿易で栄えてきた。



スペイン女王イサベル

もとはカスティリヤの王女で、アラゴンのフェルナンドと結婚した後、共同のスペイン王となっていた。第 48 回を復習。

- ・（ ）年、コロンブスは、スペインのパロス港を出港し、大西洋を横断してバハマ諸島の（ ）に到達した。
→コロンブスは、到達した場所を死ぬまでインドだと思っていた。
→そのため、コロンブスが到達した島々をまとめて（ ）といい、現地人は今でも「インド人」と呼ばれている。



パロス港からの出発

3隻の船に 90 人が乗った。コロンブス一行の中には囚人なども多く、航海中には暴動も発生した。



サンタ=マリア号の模型

ナオ(カラック)と呼ばれる長さ 18m の船で、それほど大型船というわけではない。鄭和の宝船は、これの 7 倍もあった。



コロンブスの「新大陸」到達

サンサルバドル島に上陸するコロンブス。これ以降にスペインが新しく支配した地域を総称して、インディアスと呼ぶ。

2 スペインとポルトガルの世界分割

・スペインとポルトガルは、新しく発見した「新世界（新大陸）」の領土をどちらのものにするかについて、交渉を続けていた。

- ・1493 年、ローマ教皇アレクサンデル 6 世の仲介で、植民地分界線（教皇子午線）を決めて、東側をポルトガル領、西側をスペイン領とした。
→1494 年、ポルトガルの抗議で新たに（ ）を締結した。
- ・1529 年、サラゴサ条約によって、アジアにおける植民地分割ラインを決めた。



カブラル
どうも計画的な漂着だったらしい。

- ・1500 年、ポルトガル人の（ ）は、インドへ向かう途中嵐によって偶然？（ ）に漂着した。
- ・トルデシリャス条約にしたがって、ポルトガル領となった。

